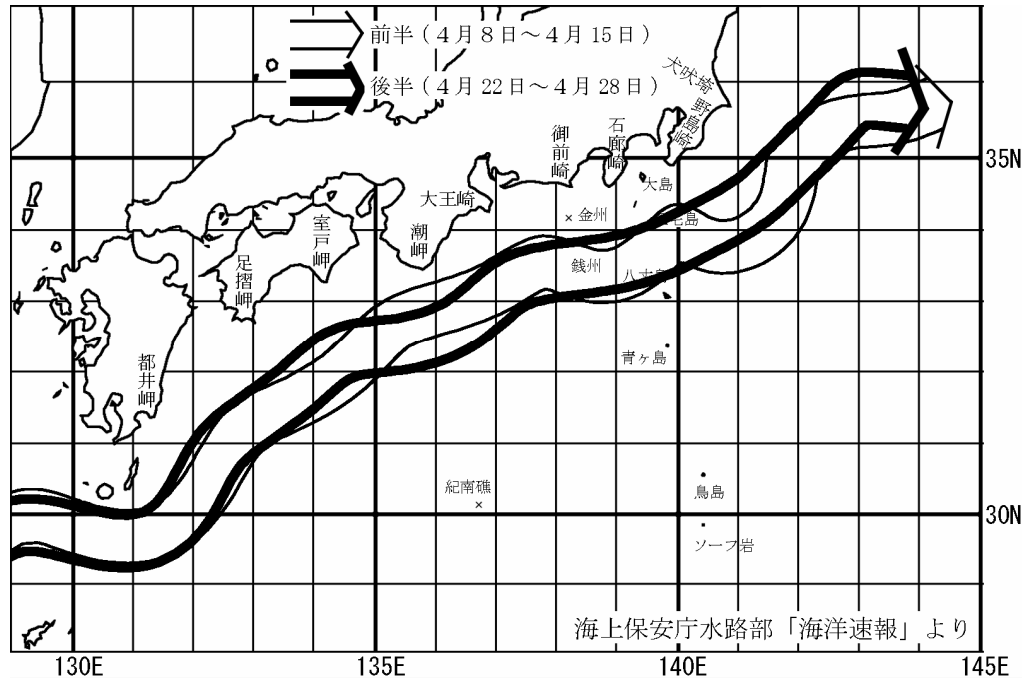


# 漁海況月報

平成 15 年 4 月 1 日

No. 4 ~4 月 30 日

静岡県水産試験場  
(電話 054-627-4815)  
静岡県水産試験場伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



2003 年 4 月

定地水温の旬平均値 ( )

(下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	14.2	15.5	15.7	17.1	16.2	15.4	14.4
	-0.5	0.5	0.7	1.1	0.1	0.4	0.0
中旬	15.3	16.2	16.0	17.4	17.5	16.9	16.6
	-0.0	0.7	0.5	1.0	0.8	1.1	1.3
下旬	16.4	16.1	16.1	17.4	17.8	17.1	17.0
	0.2	0.1	-0.0	0.3	0.5	0.5	0.6
月平均	15.3	15.9	15.9	17.3	17.1	16.4	16.0
	-0.1	0.5	0.4	0.8	0.4	0.6	0.7

## [黒潮流路]

前月下旬に伊豆諸島を覆った冷水渦の消滅に伴い、4月上旬には黒潮の蛇行も解消した。その後、黒潮は、遠州灘沖を東進し房総半島から大きく離岸して流れた。

4月後半は、九州東岸沖から室戸岬沖で離岸し、潮岬に接岸した後、遠州灘沖では、33° 30'N付近を東進、御蔵島・三宅島付近を通過して、房総半島からは離岸して流れた。

## [県下沿岸域]

県下の定地水温は、伊豆東岸では14~16 台、伊豆西岸では16~17 台、駿河湾西岸では、14~17 台で経過した。伊東では平年と比べて平年並み~若干低めであったが、他の観測点は高めであった。

## [竿釣近海カツオ]

4月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は1,469 トンで前年同期の2.1倍であった。魚価は256 円/kg で、前年同期を大きく下回った。

御前崎市場での調査によれば、4月の漁況はおおむね以下のとおり推移した。

上旬: 21° ~27° N, 138° ~143° E (表面水温 21~25 )と広範囲に漁場が形成され、特大、特特大、大、中カツオを漁獲した。

中旬: 23° ~28° N, 140° ~146° E (表面水温 21~23 )に漁場が形成され、特大、特特大、大、中カツオを漁獲した。

下旬: 26° 30' ~27° 30' N, 137° 30' ~145° E (表面水温 21~23 )に漁場が形成され、大・中(体長 58cm モード)、小、特大(体長 67cm モード)カツオを漁獲した。また、32° ~34° N, 139° ~141° E (表面水温 19~22 )では極小、小、チンカツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚量 / 隻 (トン)	平均単価 (円 / kg)
15 年 4 月上旬	650	33	19.7	229
中旬	481	36	13.4	237
下旬	338	32	10.6	336
15 年 4 月計	1,469	101	14.5	256
14 年 4 月計	713	95	16.8	525
13 年 4 月計	803	83	9.7	539

## [定置網]

平成 15 年 4 月、伊豆半島東岸大型定置網 8 か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)における水揚量は 270 トンであった。1 漁場当たり水揚量 33.7 トンは、前年 59.0 トンの 57%、平年値(昭和 57~平成 14 年平均値) 50.8 トンの 70%であった。

魚種別にみると、マアジ 141 トン(前年の 50%、平年の 90%) カタクチイワシ 38.7 トン(前年の 46%、平年の 1.4 倍) スルメイカ 13.2 トン(前年の 60%、平年の 80%) サバ類 12.7 トン(前年の 6.8 倍、平年の 35%) プリ 12.1 トン(前年の 60%、平年の 1.4 倍)の順に多かった。

マアジの全漁獲量は 4 月の定置網全漁獲量の 5 割を占め、川奈で最も多く入網し、尾叉長のモードは 16~18cm であった。カタクチイワシは北川で最も多く入網し、被鱗体長のモードは 13cm であった。

スルメイカは赤石、谷津、北川を中心に入網し、本種の外套背長のモードは21cmであった。ブリは平均体重6.7kgの銘柄がりが川奈と富戸を中心に1,795尾入網し、両漁場でぶり全漁獲量の8割を占めた。また、尾叉長の中心は71~76cmであった。

漁場別水揚量は、マアジとブリの漁獲が多かった川奈(68トン)、マアジとカタクチイワシの漁獲が多かった北川(51トン)、マアジの漁獲が多かった伊豆山(32トン)の順であった。

**[サクラエビ船曳網]**

4月は7日間の操業で531トンの水揚量となり、昨年4月とほぼ同じであった。漁場は富士川、田子の浦、沼津沖を中心としながらも戸田沖や土肥沖、駿河湾中央部など様々な場所で形成された。体長組成は38mmにモードを持ち、先月より大型化した。また、30mm以下の小型のものはほとんど見られなくなった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り (kg)	漁 場
平成15年4月 上旬	164	3	平均 911	富士川沖~三保沖
中旬	194	2	平均 1,614	富士川~沼津、土肥沖
下旬	173	2	平均 1,441	由比~沼津沖
平成15年4月 計	531	7	平均 1,263	-
平成14年4月 計	534	8	平均 1,113	富士川~由比沖
平成13年4月 計	632	12	平均 877	由比~蒲原沖

**[サバたもすくい棒受網]**

小川港に水揚げされたサバ類は前月の水揚げ量(1,035トン)の約6割の626トンで、前月に続きすべてゴマサバであった。漁場は中旬から下旬にかけて棒受網では三宅近海を、たもすくいでは銭洲を中心に形成された。棒受網漁船によって水揚げされたゴマサバは33~35cmの大きさのものが主体であり、1kg当たりの平均単価は133円であった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成15年 上旬	3	1	1	2.6	銭洲
4月 中旬	374	5	30	12.5	三宅、三本、高瀬、銭洲
下旬	249	2	11	22.7	三宅、高瀬、銭洲
計	626	8	42	14.9	- - - - -
平成14年4月	572	14	45	12.7	三宅、三本、高瀬、銭洲
平成13年4月	723	11	47	15.3	三宅、三本

**[まき網]**

静浦港では、4.6トンのマイワシが水揚げされ、前年同期(24トン)の19%、平年同期(過去5か年

平均:34トン)の13%と極めて少なかった。カタクチイワシの水揚げは47.0トンだった。

伊東港では、マイワシは0.7トンの水揚げであったが、低調であった。

小川港では、58トンのマイワシが水揚げされ、前年同期(168トン)の35%、平年同期(過去5か年平均:90トン)の65%に過ぎなかった。

**[シラス船曳網]**

1日1か統当り水揚量は、駿河湾で436kg、遠州灘で796kgだった。主要6港平均では540kgと前年同期(207kg)の2.6倍、平年同期(過去5か年平均:250kg)の2.2倍であった。4月の総水揚量は990トンと、前年同期(303トン)の3.3倍、平年(465トン)の2.1倍で、好漁であった。特に4月7~13日には、1日1か統当り1tを超える水揚げがあった。平均単価は462円/kgと平年同期(833円/kg)に比べて低めに推移している。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統/日)	平均単価 (円/kg)
新 居	94.2	14	211	446	465
舞 阪	458.7	15	668	687	400
福 田	185.6	12	316	587	477
御前崎	77.7	12	131	593	444
吉 田	145.2	11	284	511	572
静 岡	28.2	10	222	127	1,067
平成15年4月計	989.5	-	1,832	(平均)540	(平均)468
平成14年4月計	303.3	-	1,464	207	1,148
平成13年4月計	315.6	-	1,997	158	791

**[調査船の動向]**

富 士 丸

- 4月3日 ソナー取付工事のため清水三保造船に回航(1日間)
- 4月16日 ソナー取付工事終了により焼津港に回航(1日間)
- 4月23日 ソナー習熟運転(1日間)
- 4月24日 ソナー習熟運転(1日間)

駿 河 丸

- 4月7~8日 地先定点観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(2日間)
- 4月10日 石花海~カドの瀬~金洲の瀬にてサバ標識放流調査(1日間)
- 4月14日 奥駿河湾にて水質調査(1日間)
- 4月16~17日 金洲の瀬~石花海にてサバ標識放流調査、波勝崎・天竜沖・御前崎沖にてマリンロボ調査(2日間)
- 4月21日 駿河湾内にて静大・JAMSTECの深層水調査(1日間)
- 4月22~23日 白浜沖・波勝崎にてマリンロボ調査(2日間)
- 4月24日 サバ標識調査のため出港するも荒天のため帰港(1日間)